

2016 1/12

No.2010

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
—神奈川政経懇話会—



寒川神社(寒川町宮山)で、年末年始の参拝客を迎える恒例の「迎春神話ねぶた」の神門への設置が行なわれ、「海幸彦山幸彦」をテーマにしたねぶたが取り付けられた。元日から点灯され、2月3日まで設置される。



## contents

視点・点描	3
数千年を経た文学の価値	
特別講演会	4
私の女優人生—岩下志麻が語る演技と出会い 女優 岩下 志麻	
国際	8
混沌の度を増す世界 米大統領選、中国、テロ拡散…	
政治反射鏡	11
首相、参院戦勝利へ集中 試される野党の親和力	
政治	12
政治的楽観主義の勧め 民主党は攻めの姿勢を貫け	
くらし2016	14
介護予防は十分な栄養摂取から	
広告珍談	16
広告はたのしい⑦ ミカドのイラスト！	
NNAアジア経済リポート	17
会員のページ	18
設立50周年は4月に(その18)講演録抄録⑧ 会員の動き	
会員のページ	19
設立50周年は4月に(その18)講演録抄録⑧	

### 事務局だより

#### ◇横浜定期講演会

2016年1月20日(水)

13時30分～15時

崎陽軒本店4階「ダイナスティー」

講師は日本理化学工業会長の大山泰弘氏

演題は「真の福祉国家を実現しよう～知的障害者に導かれた企業経営から～」

#### ◇横浜定期講演会

2016年2月10日(水)

富士ゼロックス神奈川と共に  
「第7回神奈川TOPセミナー」

#### ▽基調講演

15時30分～16時40分

講師はキリンホールディングス元会長の荒蒔康一郎氏

演題は「キリンビールの経営改革」

#### ▽特別講演

16時50分～17時50分

講師はマラソンランナー・スポーツコメントーターの千葉真子氏

演題は「命を輝かす人間」

以上、ホテルニューグランド本館2階「レインボーボールルーム」

#### ▽懇親会

18時～19時30分

ホテルニューグランド新館3階  
「ペリー来航の間」

◆おことわり 2015年12月11日開催のシンポジウム「2016年の動向を読む」の詳細は、1月26日号に掲載します。

# 視点



## 数千年を経た文学の価値

これまで幾たびも繰り返されてきた議論です。文化・芸術は世の中にどこまで寄与できるか。「アメリカの飢える子どもたちに、文學は何をなしえるか」——このように語ったサルトルだけでなく、多くの文人たちが自身にも問い合わせてきました。

メスが真っ先に当てられます。文化は、その存立を常に景気に左右されときました。ましてや今、若年層の情熱はスマートフォンに注がれている時代です。

文学が軽視されているとすれば、理由の一つに「あいまいさ」があるのでしょうか。小説や詩、戯曲の価値はイデオロギーや事実よりも「いかに表現したか」にあります。その文脈に親しんでいないと、すんなり入り込めないレトリック

今、起こっています。文部科学省が国立大学の文系学部の見直しを迫っています。グローバル人材が求められる現在、他国と渡り合える実学により重点をおくべきで、

文学を専門とする学部などは不要ということなのでしょうか。

か——こんな疑念を抱く人も多いの

「選択と集中」にいたずらに異を唱えるつもりはありません。ノストラルジーと一蹴する声もあるでしょう。だが、実学一辺倒な教育で新しい国づくりがなされるのだろうかという疑問は、やはり呈しておきたいと思います。

しかし、古事記にせよ、源氏物語にせよ、ギリシャ悲劇やシェークスピアにせよ、価値の乏しい作品が数百年、数千年の時を生き抜くことができるでしょうか。その

間間にひそむ人類の血脉や英知をすくいとる訓練を放棄した後、失われるものはないのか、ここで考え直すことは必要ではないでしょうか。優れた先人たちが残した豊かな森に目を向けなくなつたとき、私たちは大きな報復を受けるかもしれません。

一年の計に、そしてグローバル化の波がますます押し寄せるであろう今こそ、考える好機かもしれません。

(神奈川新聞社文化部長  
丸山 孝)

## ミカドのイラスト！

おそれおおくもミカドが、広告に登場された。

仁君として名高い、仁徳天皇で

ある。高殿から民の暮らしを眺められたミカドは、かまどから立ちのぼるけむりが見えず、その貧しさを知つて租税を免じられた。歳

月がたつたある日、けむりがたなびくのをご覧になり、安堵なさつたご様子の図である。かまどではなく、蒸気機関車のケムリだけど。

仁徳天皇は応神天皇の皇子、第16代天皇である。ミヤコを難波（摂津）の高津宮にさだめ、堀江をつくり、池をひらき、たびたび氾濫する淀川に茨田堤をきずくなど、いくつもの土木工事の伝承がある。大陸からどんどん文化文物が流入した時代であり、大和朝廷の最盛期でもあつた。

ボクは幼いころ、おとなたちが「キゲンハニセンロッピヤクネン

……」と、歌つてゐるをおぼえて

いる。紀元は2600年とは、いつなのだろう。かつて、紀元節といいう祭日があつた。BC660年、神武天皇が即位されたその日を太陽暦に換算して2月11日になつたという。現在の建国記念日である。

紀元2600年は、1940（昭和15）年。その年、「皇紀二千六百年祝典」が皇居前広場で行われ、250万人が世紀のよろこびにわいたと、新聞の見出しあおどる。

図は1899（明治32）年9月7日、大阪朝日新聞に掲載された。

広告主は大阪鉄道、奈良鉄道、河南鉄道の3社。大阪鉄道は、奈良から天王寺・湊町を走つていた私鉄。1900（明治33）年6月、国有化され、JR関西本線の一部

東部を走つていた私鉄である。鉄道3社の運賃が3割引セール。イベントにすもうや音曲、芸者の行列もやるよと。なぜか「全国煙火競進会」とは花火大会のこと。古代のミカドの装いはかくやと連想させる、風格あるイラストは目を引く、説話を折り込んだすばらしいアイデア。おめでたい年だからなおさらだ。

なに？ 仁君とは忍者のことかだと？ ちがうちがう。人徳の高いヒトのこと、つまり仁徳天皇のようなお方のことをいう！

（美術工セイスト、茅ヶ崎市在住）  
（図）鉄道運賃割引の広告、1899  
（明治32）年9月7日、大阪朝日新聞掲載



大阪鐵道

奈良鐵道

河南鐵道

新聞掲載